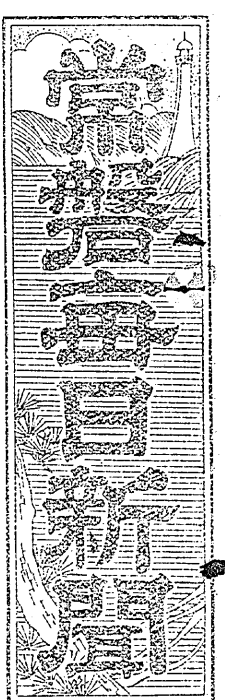


刊夕日五廿月二



定価 一冊五錢 一ヶ月五拾五錢 三ヶ月一圓二拾五錢 半年二圓 一年三圓 郵費別
發行所 常盤屋日新新聞社
印刷所 常盤屋日新新聞社

國際聯盟と滿洲問題

長 橋 野 人

(三)

もしこれを國際條約の解釋といふ上から云へば、移民を拒むことに對して何等不正義と云へないであらうけれど一國內に於いて大きな地面を大都市の内に所有して居るといふことが社會正義の觀念に悖るといふ論法を國際關係に適用するとしたならば、北米合衆國の如き廣なる地面を比較的少數の人間によつて獨占するといふことは人類の社會の正義に悖るといひ得るではあるまいか。して見ると、實質的には無條件に即ち道徳的理由なしに異民族の移住を拒むことは倫理的に正當でないといふであらう。即ち國際正義といふことも見様によつて同じ事件が違つた斷案をとるといふことになるやうである。滿洲に於ける此の度の事件の如きも單なる國際聯盟の條文に照して正當であるとか無いとかいふことは確かに一つの斷案の下し方ではある。尤もその見地に基づく國際聯盟の斷案に關しても議論の餘地があるかも知れぬがそれは姑く別問題とする。

然し此の度のやうな事件を惹き起した事情といふことを考慮に入れるといふことは形式的な國際聯盟の條文に違つた斷案を下すといふことが却つて倫理學でもあり正論でもあるといふことがあり得ると思ふ。例へば、それに關しては過去に於ける日支間の條約とそれを履行といふものがどうなつて居るか、又或は滿洲自體に關する過去の政治的、經濟的事態といふものがどうなつて居るかといふことを考慮に入れて判斷を下すといふことが眞の國際正義といふことになるわけである。尤もこの場合とて、如何なる事情があるとしても、日本のつた軍事行動といふものが國際聯盟の規約に悖るか悖らないかといふことは獨立に判斷し得ることである。この場合に於ても單なる事件の外面を土臺とする形式的判斷と、その事件が日本側が主張する如く正當なる手段であつて一種の正當防衛的手段であるといふことが實質的に證據立てられるならば、此の場合の斷案も二様に岐れるわけである。面

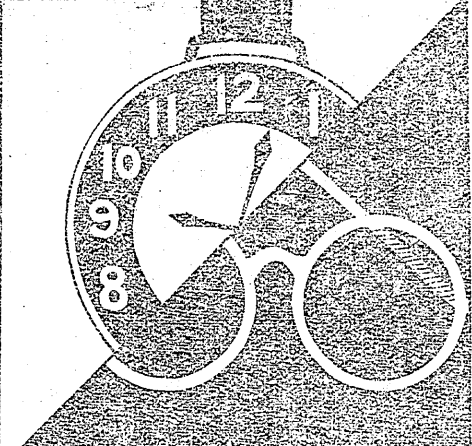
常盤屋

雪

大竹秋平

◆ 間近なる赤井の嶺や白雲赤枯かくす今日の初雪
◆ 見渡せば昨日の姿影もな
く今日の吹雪に白き姿を
◆ 赤枯れて淋しき山も雪積
り今日此頃ぞ白く輝く
◆ 朝まだき見渡す山の白雪
にあとつけそめて飛ぶ鳥
かな
◆ 汽車の窓過ぐる山皆赤ら
びて雪白き里に陽出でん
とす
◆ 見渡せば近くに見ゆる赤
井嶺今日か吹雪に姿かく
せり

專 門
産 婦 科
人 科
柳 病 科
花 科
◎ 入院應需
井坂醫院
平町田町 電話五五九番

正 確 時 計
王 常盤屋時計店
お客様本位の……

好 適 の 眼 鏡

貸切の……
御用命は？
獅子吼(四四九)ノ勢デ
マツサキ
眞先ニ……(マツサキ)
三九ニタクシーへ!!!

花 環
花 籠
蓮 華
造花
新らしく安い
▼ 靈板自動車御用
町川新町平
屋 本 橋
香三六一話電

當選御禮
鈴木辰三郎

配 達
大勝園
お茶の値下斷行
本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして
英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より
五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 十五錢
第二號十錢
迅 速

警中警女兩校の

志望多し

一學年以上も

補欠募集する

警城中學校は縣下でも入學難で知らるゝだけに今年も二百五十名の募集人員の外に例年行はれてゐた二年のみの編入試験を今年は二年以上とし轉學編入試験の上採用することにし緩和策を講じてゐるが締切は三月二十三日で一般新入學生の願書受付締切りは三月十五日で應募者は昨年同様三百六十名位と見られてゐる警中とともに

入學競争の激しい警城女學校も三月十五日締切で二百名を募集してゐるが試験日割は三月二十七八九の三日間である

炭礦作業の

機械化

石城の各炭礦では不況対策として生産費の低下をはかるため作業の機械化をはかりコールドカッターをもつて掘進する方法をとりまた災害防止のため掘進前に水脈の試験をなす等最近では技術の進歩により著るしく人件費を縮小し得ることゝなり警城炭礦の如き五千餘名の従業員をもつて一日

豫算……

町會

選挙後仕末全部完了し

平町役場では選挙後の後仕末も大半整理出来たので来る廿八日町會を開會、七年度豫算を附議する事となつた爲め本日會議室に各係參集上提豫算の打合を行つた

収入役は

佐々木龍若氏

最も呼聲高し

平町収入役大河原金之助氏は三月下旬を以つて任期満了するが現在の収入役は月給百圓を給與されて町としては町長に次ぐ最高給にあるので有産で有階級の人々等はこれの後釜を狙つてそれ〴〵手筈を求め盛んに暗中飛躍を試みてゐるが目下のところでは町會議員の佐々木龍若氏後任の呼聲が

締切後には

絶対お断り

昭和博の女監視 此際至急申込み

今春の昭和産業博覽會に採用すべき女監視員四十名の募集は廿九日迄平職業紹介所

して居るが平町内から通勤出来ぬ者は採用しない事になつて居るから平町附近の希望者は今後四日間以内に同所へ申込み度いと尙締切後は絶対に受付ぬとの事である

検査米を奨励

産米鑑定研究

平穀物検査所では廿六日午前十時より四倉倉庫兩出張所員を招集産米の鑑定會並に事務の研究會を開くが今回は殊に農家の検査米奨励に就いて協議を行ふ筈

平映畫界

■世界館 東亞作品正邦乙彦主演 黎明に立つ若者 帝キネ作品 明星石線郎鈴木澄子主演 天保水滸傳 東亞時代劇 原駒子、青柳龍太郎主演 嬌艶緋鹿の子御殿 平館 松竹時代劇 林長二郎、尾上榮五郎、柳さく子主演 馬頭の鏡 日活 作品河部五郎、濱口富士子主演 肥後の駒下駄 松竹現代劇 岩田祐吉、八雲惠美子主演 真理の春

平町人事

△鎌田町四三當時東京府下豊多摩郡澁谷町字田川入江長治二男滋
△石城郡豊岡村字洞鈴木濱五郎(二九)鎌田町五一佐藤ヨネ(二七)

商業校友會報 平商業學校々友會にては校友會報第二號を發行すべく服部教頭主任となつて編輯中であつたが目下印刷に附して居り來月十一日の卒業式迄には發行出来る由

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

急告

博覽會場内飲食店募集

- 第一會場内 二ヶ所
 - 第二會場内 四ヶ所
 - 第三會場内 三ヶ所
- 賣店敷地料壹坪二付金拾圓也
右希望者は二月末日まで申込み相成度
但シ申込み満員ノ際ハ即時ベ切可申候

昭和産業博覽會

第一會場内事務所

東京市本郷駒込追分町

(茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約五分 電車約十五分)

駒込館

電話(小石川)三一六五番

一泊金一圓八十錢 (但シ二食附)

鳥の油 大勉強

四合壘詰 一本 三十五錢
一升入同 九十錢

滋養豊富、天ぷら其他揚物等には頗る美味……是非一度御試食下さい、多少不拘配達致します

平用町搔樋小跡

鈴木鳥肉店

電話六五四番

井の

手切商品

八番 三三番 電話

たくみな遺り方に 係官もビツクリ

昨報一檢舉された窃盗團 不良児が夫々持分をさめて

昨報内郷村宮青少年の窃盗團は目下平署で取調中であるが親分は窃盗前科一犯石井利雄(三)と稱し幼年者は主にスリ専門青年は窃盗と云つた様に持ち分を分割し見張を置いて難路せる車内及び賣出し中の店先にて悪事を行つて居たものであつてスリ二十八九件窃盗十

餘件に達し其巧妙なには係官も舌を捲いて居るが仲間には以前内郷の活動家に忍入りフィルムを窃取せる河村知郎(二)も假名の如き未成年者が一ツ端しの悪黨振を發揮して居り窃取した金の大半は頭株の者が飲飯に消費して居たと

たかどにより表彰する事になり福島保線事務所より仙

鐵局長に表彰方を上申した

観梅團

いはらき主催
列車増結

いはらき新聞平支局主催の水戸観梅團は廿八日午前七時五分平驛發の筈であるが會費が汽車賃、自動車賃、酒付食分共で三圓五十銭といふ低廉さの爲め申込者續々とあり本日が締切日だが會員は五十名を突破の見込で列車を増結するといふ

上遠野村の 總理大臣だ

眼をむいて怒る
手に負ひぬ精神病者

昨夕七時二十五分下り平着列車より降車した百姓男が無札の儘改札口を出んとしたので係員がトガめると突然ムキになつて「俺は上遠野村の總理大臣だ、切符等を持つて歩くか」と眼をむいて怒るので係員も手のつけ様なく直に驛前交番に引渡したが同人は石城郡上遠野村の上遠野(一)といふ精神病者で昨年十一月中にも内務大臣だと稱して警察の保護を受けた男と判明目下署内に保護を受けて居る

第二公園を連結すべき架橋計畫は永らくの懸案であつたが来る四月産業博の開催

を機とし近年にない賑ひを呈する見込みなので混雑を緩和すべく愈々七年度豫算に工費千五百圓を計上する事となつた由

開くと

今朝の
磐崎の農家
原因調査中

今朝午前九時頃石城郡磐崎村字下船尾農中野信行方より發火し忽ち同家一棟を全焼他に移焼せんとするを消防組員馳付け漸く消し止めた原因調査中

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

誠に便利な

券品商

金額の多少に不拘調

製致します

平町南町

鳥肉商 鳥菊

電話二八六番

何御利率下

いさ

母を救ひたさに 女給志願

奉公先を飛出す
深夜の小娘

石城郡好間村渡邊傳吉の長女みつ(一)は六年前母と共に父に捨てられ生活苦から母は古河炭礦に後山婦として働き同人は平町某菓子店へ奉公に出たが少し宛でも母に金を送つてやらないと考へから此程主家を無断に逃げ出し廿三日午後十一時半頃水戸市上市のカフェ

を訪ね歩き女給になりたとい頼んで居たのを水戸署員に発見され目下同署で保護を加へて居る旨平署に通告があつた

長橋町廿日會 平町

長橋町青年分團退團者有志は廿日會を組織し本日午後六時半から第二回懇親會を

●求人部
△雑夫 卅才前後 委細面談(平町某)
△農夫 卅才前後 尋卒 月八圓位(高久村某)
△出前持 尋卒 給料面談(平町某は店)
△女中 四十五才 月五圓位委細面談(富岡町某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

●求職之部
△土工夫 五十五才 尋四修 給料面談(平町某)
△家大工 廿五才 高卒 給料面談(双葉郡野村某)
△商店雑役 廿二歳 尋卒 給料面談(内郷村某)
△看護人 五十歳 尋四修 給料面談(平町某)
△採炭夫 廿七歳 委細面談(宮城縣某)

祝儀酒に 泥酔しての歸途 崖下に墜落惨死

石城郡箕輪村字高野高萩彌太郎(五)は廿四日午後八時頃知り合ひの祝儀に招待され泥酔の上歸途同村字堂本池内に差し懸つた際誤つて一丈餘の高所より好間川に墜落頭部を強打して絶命した

(朗讀平家カニ)新家先生(童話天下一の馬)矢代先生(お話)野木先生

仙鐵局長から

表彰

鐵道沿線
消火功勞

石城郡上小川村江田消防組小頭佐藤茂外七名は去る一月二十八日江田、川前驛間の沿線火災の際及び同郡川前消防組小頭永山忠二外七名は同月三十日同區間沿線火災の際共力防火に努め

平第三小學校にては花澤訓導の指導で本日午前十一時から同校講堂に左記の如く高學年童話會を催した(唱歌水たまり)鈴木先生

第二公園
架橋豫算
愈々計上

平町松ヶ岡公園の第一及び

平町松ヶ岡公園の第一及び

平町松ヶ岡公園の第一及び

平町松ヶ岡公園の第一及び

平町松ヶ岡公園の第一及び

小説



【裁轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

ほととぎす (5)

『やはり何處の隅にも悪魔は潜んでるものと見えてその支配人がいろんな嫌らしことをいふから跳つてやつたら機嫌を悪くして、今度はあべこべに虐めつけらるんださうた、二三日も勘定が違つたとか金が不足したとかで恐ろしい勢いで叱り飛ばしたもんだから居堪たまらなくなつて僕とこへ泣きながら逃げ込んで来たのだ可哀想に泥棒呼ばわりをされたつてね、残念で〜で堪まらないから死んで了ふなんて言ふ譯さ若い女は何處へ行つても困つちまう』

『へえ〜』
歌治は自分のことでもあるやうに、さつと顔色を變らした。
『まあ、何て憎い奴でせうねその支配人とやらが』
すつかり減入つた氣分にさせられた歌治は飲みかけた酒をその儘に淋しい目で猪口を視詰めてゐたが、頓て憶ひ出したやうにぐつと一息に呻りつくして
『あなた、それで千代子さんを如何なさること、どこかへまたお出しになるおつもり』

『いや、もう話の外だ。川島ね、あいつの二代目さ。川島を追出してくれたのはいゝが、自分がその跡で川島以上のことを爲るつもりなんだから叔父の方が役者が一枚上なんだ。つまり毒を盛つた容器を洗つたらまた外の毒が入れかかつて来たやうなものさ文字屋は結局人に喰はれるために今まで存在してゐたのだ。お互に江戸ッ子だつて威張つてゐたが、その江戸ッ子は片ツ端から田舎者に征伏されて滅されてゆくんだから情ない』



の様子を聞きたいもんですからね、あれからお店の方電話をかけたところが、皆んな持主が變つてそん方は知りませんといふのでせうおや〜と思つてねえ』
『電話はもう無くなつてる筈だ。あの家も賣られちまつたかも知れないよ、ウフ』

『いゝ惨状さ』
やけに併し陰気な笑ひ様をした。
『どなたが後始末をしてゐらつしやるの』
『叔父さ、本所の……』
急に昂奮したやうな調子になつて
『世の中の人間は皆な狸だよ。狸だよ友人だつて親戚だつて身うちだつて駄目の皮だ。尻尾をかくして正直さうに親切さうに見せかけてゐるが、いざとなれば喉ツ首に喰ひついて、骨ごとゴタゴタと吮る徒輩で世の中が出来てゐるんだ。吮』

美味! 芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

磐城セメント會社特約店
久全屋固店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷はの生命なり

外科 門專 X
上田外科醫院
醫學博士名推獎
平町南町 電話二一九番

チラウム温灸器
特許賣賣
志賀齒科醫院
福島縣平町五ノ廿八
約代理 治療 産婆 關口悦子
販理部 福島縣平町白銀町九
賣部 藥及特效サツ五週間分付
金拾參圓上製桐箱入一揃
定價表 金拾圓上製桐箱入一揃 (説明書呈)

吉田眼科病院
平町新川町 電話六八番

大塚の 學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を
大塚支製靴部 電話七七番

時計眼鏡
トキワヤ
平一・電三三九

難波醫院
平町新川町 電話五〇二番